

# 日本人はどこに住みたいのか? どう暮らしたいのか?



写真提供：広島県交流・定住促進協議会 ※写真はイメージであり、報告等の内容とは直接結びつくものではありません

過疎化、高齢化が他地域以上に進展している中国四国地方において、特に、中山間地域の住資源を有効活用した交流・定住を進めていくことは極めて重要であると考えます。こうした中、「定住」にこだわらないさまざまな、「多地域居住」の取り組みが実績を上げつつあります。

このため、本研究会では、中国四国地方における多地域居住をめぐるさまざまな論点を提供し、今後の具体的な中山間地域における、地域資源の活用や農家民宿なども含む住まいの利活用と交流・定住の仕掛けの提案につなげていきたいと考えています。

本年1月に開催したシンポジウムをスタートに 2009 年度はこのテーマで都市計画研究会を3回開催しています。

## 2009 年度 日本都市計画学会中国四国支部 都市計画研究会

### テーマ 中四国地方の「多地域居住」の可能性を探る ー中山間地域の住まいの利活用と交流・定住の仕掛けを考えるー

- 日時 平成21（2009）年11月7日（土）14:00～17:00
- 会場 広島大学東千田キャンパス 208号室（広島市中区東千田町 1-1-89）
- 参加 無料、100人（先着順。できる限り事前に申し込みください。）
- 主催 日本都市計画学会中国四国支部（企画・研究委員会）
- 共催 日本建築学会中国支部、日本建築学会農村居住小委員会、都市住宅学会中国・四国支部、日本福祉のまちづくり学会中国四国支部
- 後援 日本建築学会四国支部、土木学会中国支部、土木学会四国支部、広島県建築士会、中国・地域づくり交流会

申し込み方法 FAX又はe-mailで、お名前、ご所属・住所、電話番号を明記の上、11月2日（月）までに  
FAX 082-245-7629 e-mail [miyamoto@ccrrc.or.jp](mailto:miyamoto@ccrrc.or.jp) へてにお申し込みください。（様式自由）  
社団法人 中国地方総合研究センター 宮本 茂  
〒730-0041 広島市中区小町4-33 中国電力3号館5階 TEL 082-245-7900(代表)

今回は、本年1月に開始した研究会シリーズの最終回にあたります。第1回での話題提供、第2回での事例研究、第3回では、現地見学・ヒアリングを行い、今回最終回の第4回は総括を行います。

### 【総括シンポジウムプログラム】

《予定》

14:00 開会挨拶

日本都市計画学会中国四国支部企画研究委員会

14:05 事例報告（計80分）

話題Ⅰ 「広島県世羅町の地元建設会社による、民間賃貸別荘事業への取組から見た課題と可能性」

◆風呂迫建設（株）社長 風呂迫 聖吾 氏

世羅町の地元建設業者単独で農園付き別荘を整備。戸数6戸（今年度中に10戸まで増設）で、年間賃料40万円。平成21年6月から全戸入居済み。建設会社、民間、賃貸などをキーワードに可能性を探ります。

話題Ⅱ 「広島県庄原市高野町における簡易民宿経営の現状と可能性」

◆りんご畑 前田 万里子 氏

高野町の田舎料理店「りんご畑」を経営する傍ら、自宅を改装して、泊食分離の民宿を開業。民宿、法規制、中山間、女性、地域などをキーワードに可能性を探ります。

話題Ⅲ 「都市・農村共生からみた多地域居住の可能性」

◆神戸大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授 山崎寿一先生

学会における農山村研究の第一人者で、都市・農村の共生などをキーワードに可能性を探ります。

15:30 第3回までの議論の整理と今後の方向（40分）

(社)中国地方総合研究センター 企画部長 宮本 茂 氏

16:10 ディスカッション・会場との意見交換（40分）

コーディネート

(社)中国地方総合研究センター 企画部長 宮本 茂 氏

16:55 まとめ、挨拶

日本建築学会中国支部農村計画委員会

17:00 閉会

（来年早々に開催予定の次期テーマの都市計画研究会についてのご案内など）



都市と田舎のどちらも楽しむライフスタイル すでに始まっています。

写真提供：広島県交流・定住促進協議会 ※写真はイメージであり、報告等の内容とは直接結びつくものではありません